



かがつう(株)は線材から鍛造加工でネットシェイプした自動車のエアバック部品を展示。従来の冷間鍛造技術を応用させて切削からプレスに工法転換を図り、コストダウンを実現した。

(有)日伸精工はダイキャスト成形品と切削部品を組み合わせていた自動車用スピーカー部品をプレス一体成形した工法転換事例を紹介。ダイカスト成形や軸受け部溶接の工程削減で従来比90%のコストダウンを達成。さらに軸受部の一体化で高強度化も実現した。



上板塑性(株)は製品軽量化と材料の資源化を狙ったアルミ冷間鍛造製品を中心に成形工程などを展示した。新技術として焼結冷間鍛造法による試作事例も出品。同社の連関鍛造技術と日立粉末冶金(株)の粉末焼結技術を組み合わせ、複雑形状の鍛造素材での一発成形を実現。サーボプレスの活用で割れを抑えたネットシェイプを可能にしている。



(株)浅野は熱可塑性複合材 CFRTP のプレス成形による自動車フードの試作サンプル品を展示した。既存のプレス機械をそのまま使って成形できる高強度スタンパブルシートを開発し、250℃に温めた金型を使って成形した。同社では量産化に向けたハイサイクル成形の研究にも取り組んでいる。



(株)深井製作所は特殊エンボス形状によって軽量化を実現する新素材「Embrella」を使った自動車の燃料タンクを出品。剛性を維持しながら約30%の薄板軽量化を可能にした。